



フカフカちゃん

森里川海は、なぜ大切なもの？

つなげよう、
支えよう
森里川海

きれいな空気と澄んだ水、美しく心地よい緑、安全でおいしい食べもの。私たちの暮らしに欠かせないこれらの恵みは、自然のつながりが生み出したものです。自然のつながりとは森・里・川・海が一つに結ばれて、物質や生きものが行き来している状態のこと。しかし、そのつながりが急速に失われています。今、私たちの暮らし方が問われています。森里川海とそのつながりの恵みを引き出し、豊かにくらす社会をみんなで作りませんか。



森里川海がつながると、私たちにもいいコトいっぱい！

森里川海はそれぞれが恵みを生み出しますが、お互いのつながりがその恵みをより大きく育てます。

私たちの暮らしも森里川海につながりの中にあり、暮らしの安心安全やおいしい食べものなどの恵みに支えられています。





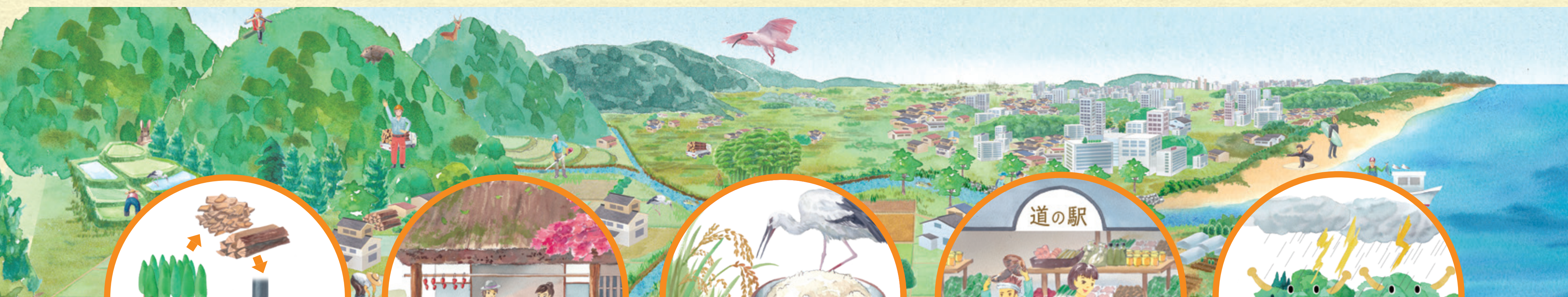
森里川海が生む 明るい未来

アヒル隊長

つなげよう、
支えよう
森里川海

森里川海と目指すみんながシアワセになれる社会

今の私たちは、食べものやエネルギーに困らない、便利な生活を送っています。しかし、石油やガスなどの地下資源に頼る生活は、ずっとは続きません。つい100年ほど前まで、私たちは暮らしに必要な全てのものを森里川海から得てました。地域で助けあうしくみをつくり、お祭りなどの文化も育んできました。昔の知恵と技に最新の技術をくみあわせ、森里川海が持つチカラを活かした新たな社会をみんなで作っていきましょう。



木を燃料に
地域経済が回る

木はもともと優れたエネルギー源。間引いた木や木くずを燃料にすれば、地域でエネルギーを自給できます。地域に仕事生まれ、外から買う燃料をへらせます。



人の集まる
楽しい地域になる

美しい森里川海は観光の大きな魅力です。森里川海の恵みに支えられたくらしに惹かれ、観光客や移住する人がふえると、地域が元気になります。



安心安全な
衣食住を支える

化学肥料や農業に頼らない有機農法で育てられた食べものや素材は、食とくらしの安心安全を提供してくれます。



オンリーワン産品で
地域に誇り

日本には、地域ならではの農林水産物がたくさんあります。魅力あふれるオンリーワンの特産品は地域経済を元気にし、そこでくらす人に誇りをもたらしめます。



“自然力”で防災・減災

健全な森が土砂崩れを防ぐ、サンゴ礁や砂浜が波の力を弱める、湿原が一時的に洪水を受け止めるなど、森里川海がしっかりつながった流域は、災害にも強くなります。

日本の森里川海はいまドウナッテいるの？

実は、森里川海から恵みを引き出しにくくなっています。例えば、林業や農業に携わる人がへったことで森や里が荒れ、災害の発生や野生の動物が田畑を荒らすなどの被害がふえています。また、ダムや堰によって川から流れこむ栄養分や土砂がへったことで、海の幸が姿を消しています。このままだと、安心安全やおいしい食べものといった森里川海の恵みが失われ、私たちのくらしが成り立たなくなります。



森の手入れが
すすまない

スギやヒノキなどの人工林は、定期的の間引きや伐採をしないと荒れてしまいますが、林業の不振で担い手がへり、災害に弱い森林がふえています。



シカやイノシシが
ふえている

里山の利用がなくなったことで、シカやイノシシが人里に接近しやすくなり、田畑を荒らす被害がふえ、地域のくらしが脅かされています。



魚がすみにくい
川になっている

災害防止のためにダムや堰がつくられ、護岸もコンクリート化されました。川と海を行き来する魚にとって、すみにくくなってしまいました。



自然の中で遊ぶ
子どもがいない

子どもはいのちの不思議やくらしの成り立ちを、森里川海を駆け回って知り、仲間とのきずなを深めるものです。そうした子どもも今や“絶滅危惧種”です。



魚や貝、海藻が
へっている

干潟や砂浜の埋め立て、川から流れこむ栄養分の減少、地球温暖化による海水温の上昇などが原因で、食卓に欠かせない魚や貝、海藻が姿を消しています。



「つなげよう、支えよう森里川海」プロジェクト
<http://www.env.go.jp/nature/morisatokawaumi/>



フクフクちゃん
ダイビングが大好きな男の子



アヒル隊長
誇りになるみんなの隊長



アヒルママ
とっても優しいみんなのママ



フカフカちゃん
実は泳げないかわいい女の子

アヒル隊長は
「つなげよう、支えよう森里川海」プロジェクトの
アンバサダー(大使)として活躍中!

© PILOT INK&アヒル隊長プロジェクト



ブクブクちゃん

みんなで とりくみましよう!

つなげよう、
支えよう
森里川海

1 メタボの森にしっかり 手を入れよう

日本の森の多くは手入れが不十分で、いわばメタボ状態。木をもっと活用して、いのちあふれる森をふやしましょう。広島県北広島町では、町内の木を薪にして利用することで、森に手が入るだけでなく、町外から石油やガスを買っていたお金が町内で使われるようになりました。



2 森里川海を利用して 災害にそなえよう

森をしっかり管理すると立派な木が育つだけでなく、さまざまな植物が根を張って保水力が高まるので、大雨が降った時の土砂崩れの防止にも役立ちます。川の上流の森に手を入れ、中流の湿原を再生し、田んぼなどが持つ水を一時的にたくわえる力を上手に利用して、大雨による災害をへらしましょう。



3 水の循環をとりもどして 地元の食べものと食文化を よみがえらせよう

「江戸前」の食文化など、日本では地元の食べものを使った独自の食文化が発達してきました。川と海のつながりを取りもどし、干潟を再生することで、ウナギやアサリなど地域の魚介類をふやし、食文化をよみがえらせましょう。福岡県柳川市では、干潟を再生することで、姿を消しつつあるアサリをよみがえらせようとしています。



4 身近にトキやコウノトリが 舞うような環境をつくろう

トキやコウノトリなどの大きな鳥やホタルが舞う場所は、私たちにとても良好な環境です。こうした生きものをシンボルに、森里川海への負荷をへらして育てたお米や野菜を販売し、地域で様々な生きものと一緒にくらせる環境をつくりましょう。兵庫県豊岡市では、コウノトリのえさ場となる田んぼで、農業や化学肥料に頼らない「コウノトリ育む農法」にとりこんでいます。生きものにも健康にもやさしいお米が人気を集めています。

5 美しい日本の風景を 未来につたえよう

森里川海の雄大さや美しさは、人の心に感動や安らぎをもたらすだけでなく、観光にとっても重要です。森里川海での文化や暮らしを、地域の「物語」として未来につたえていきましょう。荒川上流の埼玉県秩父市と下流の東京都荒川区では、子どもと大人が一緒になって、流域の森里川海の恵みをつたえる絵本づくりにとりこんでいます。



6 森里川海で新しい 産業や仕事をつくろう

都市の企業が山あいの集落に事務所を開くことで新しい仕事生まれ、移住する人がふえている地域があります。交通網やITを活用して、森里川海に恵まれた場所で豊かな暮らしをつくりましょう。岡山県真庭市では、木を燃料に発電したり、木を原料に新素材を開発したり、新たな産業をおこして地元で雇用を生み出しています。



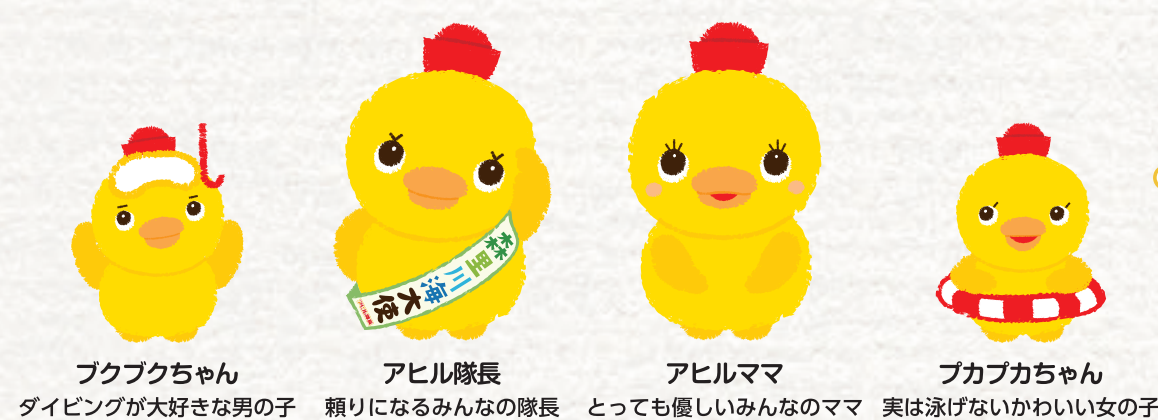
7 田畑を荒らすシカや イノシシから地域の暮らしを まもります

ふえすぎたシカやイノシシをへらすため、ハンターを育成して捕獲することが重要です。一方、こうした動物を食肉にした「ジビエ料理」が評判です。肉の処理施設を整備して、おいしいジビエとして価値を高める流通システムもつくりましょう。



8 森里川海を活かして健康で 心豊かな社会をつくります

地域の旬の食べものを使った栄養たっぷりの食事、伝統的な織物、温泉を活用したヘルスツーリズムなど、森里川海の恵みを活かした心豊かで健康な暮らしをしていしましょう。



ブクブクちゃん ダイビングが大好きな男子
アヒル隊長 頼りになるみんなの隊長
アヒルママ とっても優しいみんなのママ
ブカブカちゃん 実は泳げないかわいい女の子



森里川海プロジェクトとは？

アヒルママ

つなげよう、
支えよう
森里川海

みんなで日本を「いのち輝く国」に！ 「つなげよう、支えよう森里川海」プロジェクト

私たちの暮らしを支える森里川海は、今たくさんの課題をかかえています。しかし、大人も子どもも、都市も地方も、みんなで森里川海を支える社会をつくることできれば、森里川海からの恵みはいつまでももたらされ、私たちは心豊かにくらせるようになります。トキやコウノトリが舞う田んぼ、たくさんの魚が泳ぐ川や海、その中で遊ぶ子どもたち。そんな光景がどこにでもみられる“いのち輝く国”を目指して、楽しみながら行動をはじめの人がふえています。さあ、あなたもこの活動の輪に加わりましょう！

森里川海をつなげて支える社会をみんなでつくりましょう！

森里川海を豊かに保ちその恵みを引き出そう！

森里川海をつなぎ、そのチカラをよみがえらせて、恵み(きれいな空気・豊かな水・おいしい食べ物・ものをつくる材料・災害をへらす・子どもが遊んで学べる場など)がいつまでも続く社会をつくりましょう。



一人一人が、森里川海の恵みを支える社会をつくろう！

私たち一人一人が意識や行動を変えていくことで、森里川海を支えることができます。買いものをするときは、人や環境にやさしいものを積極的にえらび、休日は森里川海の中でゆったりと過ごしましょう。

地域の資源をできるだけ
活用する自立分散



地域同士が支え合う
関係づくり



持続可能な社会づくり



活力あふれる地域循環共生圏

農村・漁村
自立分散型社会

(地域資源【自然・物質・人材・資金】の循環)
地産地消、再生エネルギー導入等



◆自然資源・生態系サービス
・食料、水、木材 ・自然エネルギー
・水質浄化、自然災害の防止 等

◆資金・人材などの提供

・自然保全活動への参加
・社会経済的な仕組みを通じた支援等



都市
自立分散型社会

(地域資源【自然・物質・人材・資金】の循環)
地産地消、再生エネルギー導入等



地域でとりくむ
仲間をつくらう



まずは仲間をつくりましょう。市民、企業、NGO、行政など森里川海をつないで元気をとりもどす仲間「協議会」をつくって、みんなできりくむ活動を考えましょう。

みんなで支える
お金と人手を集めよう



みんなできりくむ活動に必要なお金を集めるために、個人や企業から支援を募る「地域創造ファンド」をつくりましょう。

森里川海で
ビジネスをつくらう



森里川海との共生と経済の両立を目指して、お金が回って森里川海に手が入る、新しいビジネスモデルをつくりましょう。

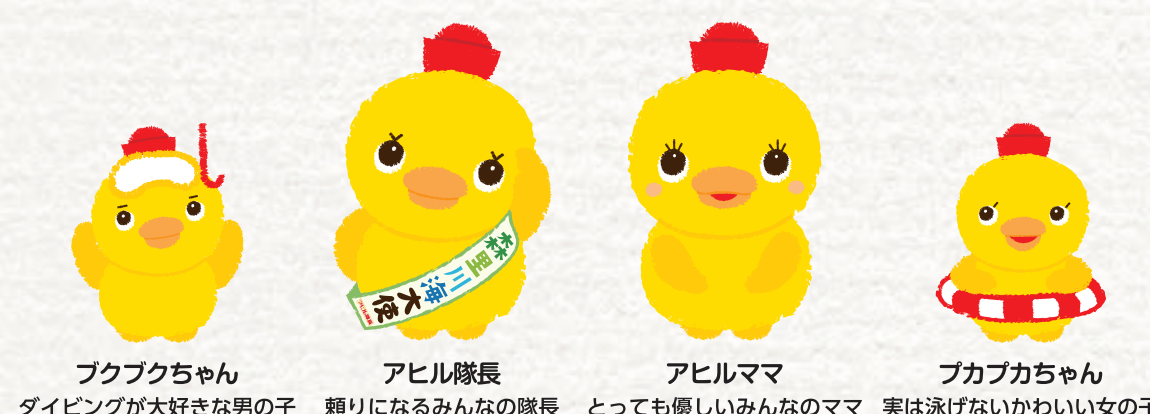
森里川海を支える人を
育てよう



それぞれの現場で活躍する人に加えて、仲間をつないだり、議論を進めたり、ビジネスを生み出したりする、地域のコーディネーターを育てていきましょう。



「つなげよう、支えよう森里川海」プロジェクト
<http://www.env.go.jp/nature/morisatokawaumi/>



フクフちゃん ダイビングが大好きな男の子
アヒル隊長 頼りになるみんなの隊長
アヒルママ とっても優しいみんなのママ
フカフカちゃん 実は泳げないかわいい女の子

アヒル隊長は
「つなげよう、支えよう森里川海」プロジェクトの
アンバサダー(大使)として活躍中！

© PILOT INK & アヒル隊長プロジェクト



アヒル隊長

森里川海の つながりを支えていこう!

つなげよう、
支えよう
森里川海

森里川海をつなぐのを支えるのは私たち! Let's ライフスタイルシフト♪

森里川海とつながるライフスタイルを、もっと楽しく! もっとオシャレに! 実現して、世界の人たちのお手本になる新しい社会を目指しましょう。

森里川海と

つながるライフスタイルに 変えていこう

毎日の暮らしの中で森里川海の恵みを意識して、買い物するときの商品えらびやお休みの日の過ごし方を変えるだけでも、森里川海を元気にすることにつながります。

- 買い物では有機農法で育てられたお米や野菜、オーガニックコットンで作られた服をえらぼう
- 家族旅行では、森里川海と人の関わりを楽しく体験して学べるエコツアーに参加しよう
- 森里川海のために自分が実際にできることを考えて、MY行動宣言をしよう



森里川海と

元気に遊ぶ子どもを よみがえらせよう

森里川海での遊びは、元気な心と体を育みます。森里川海とともに生きる知恵を学ぶ機会をふやすことで、森里川海を将来の世代につなぎます。

- 山ガキ、川ガキ、海ガキを育てよう
- 自然素材のおもちゃで遊ぼう
- 子どもと一緒に自然体験、農村体験、漁村体験をしよう

森里川海と

恵みをわかりやすく つたえよう

ライフスタイルをシフトしてもらうには、私たちの暮らしが森里川海に支えられていることをわかりやすくつたえ、自分の行動を考えてもらうことが大切です。学校や家庭でチャレンジしてみましょう。

- 上流から下流まで森里川海の恵みマップをつくろう
- おじいさんやおばあさんに、昔はどんなものを食べたり、何をして遊んだりしたのかを聞いてみよう
- 食べものや服が、どこでどうやってつくられているか調べてみよう

MY行動宣言 森里川海をつなげて支えていくために身近な一歩を踏み出そう!

私たちといきものたちのためにできる、**5** つのこと

きれいな水、おいしい食べもの、暮らしの安全。私たちは森里川海の恵みに支えられて生きています。一人一人が、その恵みに感謝してライフスタイルを見つめ直してみることは、恵みを引き出す地域を支え、豊かな森里川海を将来に引きつぐことにつながります。「つなげよう、支えよう森里川海」を合い言葉に、森里川海も地域も自分も元気になれる、そんな未来に向けて、一人一人ができるアクションを起こしていきましょう!



たべよう ふれよう つたえよう
まもろう えらぼう



WEB から MY 行動宣言しよう!
<http://undb.jp/spread-action/entry/>



「読本」で、森里川海をつなぐりや自然体験の重要性をわかりやすくつたえます!



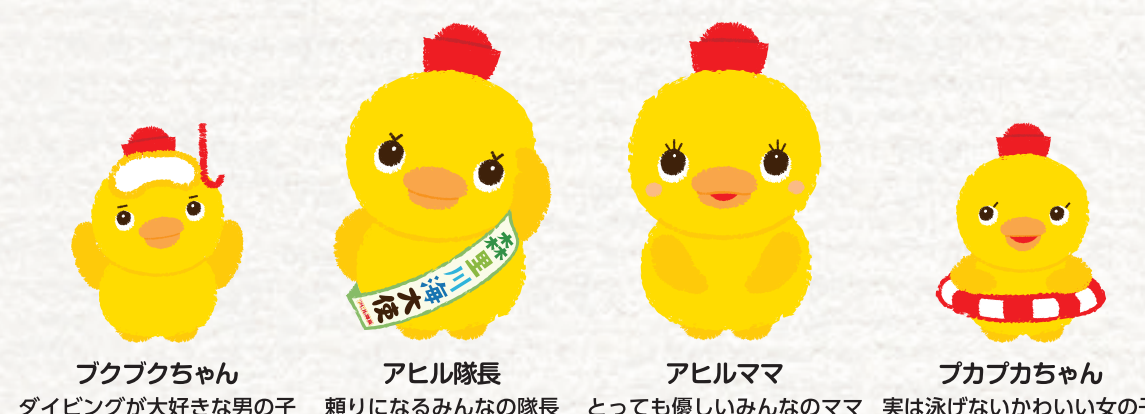
とにかく「自然」っていうのは人間の思いどおりにはいかないし、不思議なことがいっぱいある。虫の形ひとつとっても、何でこんな形をしているのかよくわからない。だからおもしろいんだ。「読本」を通じて、このおもしろさを子どもたちにわかってもらえたらうれしいね。

「森里川海大好き!読本」編集委員長 養老孟司さん (東京大学名誉教授)

読本の
ダウンロードは
こちらから!



「つなげよう、支えよう森里川海」プロジェクト
<http://www.env.go.jp/nature/morisatokawaumi/>



アヒル隊長は
「つなげよう、支えよう森里川海」プロジェクトの
アンバサダー(大使)として活躍中!

© PILOT INK & アヒル隊長プロジェクト